

近畿建設リサイクル表彰	奨励賞（再使用・再生利用部門）
受賞者	京都市 建設局 土木管理部 東部土木事務所
所在地	京都市 山科区
受賞テーマ	既設舗石の再利用とインジェクト工法による景観保全を目的とした石畳舗装補修

【取組概要】

石畳の修繕工事にあたり、従来のモルタル工法から耐用年数の長いインジェクト工法を採用しました。平成5年度から平成15年にかけて従来工法にて施工した6,000㎡は10年程度で補修が必要になっているため、随時インジェクト工法による施工を行っています。

①石畳の長期利用が可能なインジェクト工法の採用

歴史的景観を維持する貴重な財産である石畳は通行車両の増加等による損傷が進み、その補修跡が景観を損ねていました。

従来のモルタル工法では補修を繰り返していたところを、インジェクト工法を採用し長期的な利用が可能となりました。インジェクト工法を採用した既設石畳舗装の補修は、これまでに2,679㎡の施工実績があります。

②敷石の再利用

従来のモルタル工法の石畳みの再利用率はガタツキなどによる破損で74%であるのに対し、インジェクト工法の石畳み再利用率は100%です。

また、従来工法の耐用年数を10年とした場合、1,000㎡あたり29㎡のモルタル使用量を削減することができました。

【評価】

景観維持をはかりつつ、石畳の長寿命化・石畳の再利用を実現したことが評価できる。

